# 金融審議会ワーキンググループ資料 少額短期保険における現物給付型保険の在り方

平成24年8月24日

# ■多彩な少額短期保険■

2012年7月現在、少額短期保険業者は70社。契約件数の増加と共に、 多彩な保険商品が続々誕生しています。

#### 少額短期保険 契約件数の推移



#### 種目別業者数の内訳

家財・賠償 31社 生命・医療 31社 ペット 6社 費用・その他 1 O社

※複数種目を取り扱っている業者があるため総合計と一致しません。

#### ユニークな商品群の一例

- ・介護費用補償保険
- ・葬儀保険
- ・孤独死に伴う清掃費用保険
- · 自転車事故補償保険
- ・知的障がい者向け保険
- ・コンサートチケット費用保険
- ・お天気保険
- ・山岳登山レスキュー費用保険
- ・糖尿病患者向け医療保険
- ・ペット保険
  - \*上記は正式な商品名ではなく一般的な呼称

## ■現物給付が求められる背景■

#### 少額短期保険業者と消費者の相互ニーズの合致

少額短期保険業者

ユニークな商品群

新しい保障の提供

- ・少額な保険金額の中で多様な給付スタイルを実現したい。
- ・保険期間が短いことへのメリットを見出したい。

消費者

保険ニーズの多様化

必要な給付の見極め

- ・画一的な給付形態への消費者の不満。
- ・新しい保険サービスへの期待。

# 少額短期保険の特徴を生かした現物給付スキームで解消

- ・少額短期保険のフットワークを生かした商品設計。
- ・給付の選択肢を拡大することにより、消費者のニーズに応える保険の提供。

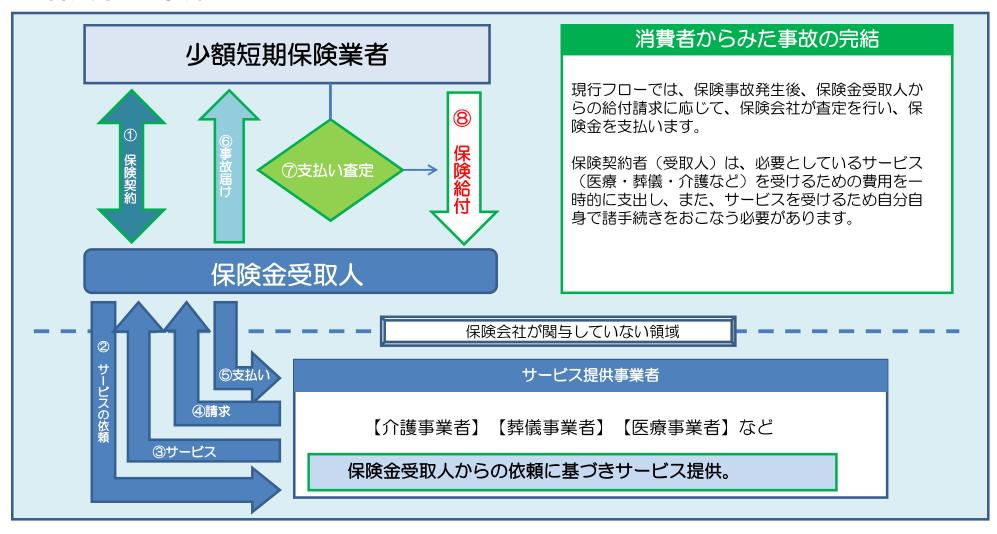
# 商品例(死亡保険の場合) 現物給付+現金給付型 事故 現念給付 契約期間 葬儀の実施 差分を現金 給付。 葬儀に関してワンストップサービスでの給付が可能。

#### 現物給付型保険と少額短期保険の親和性

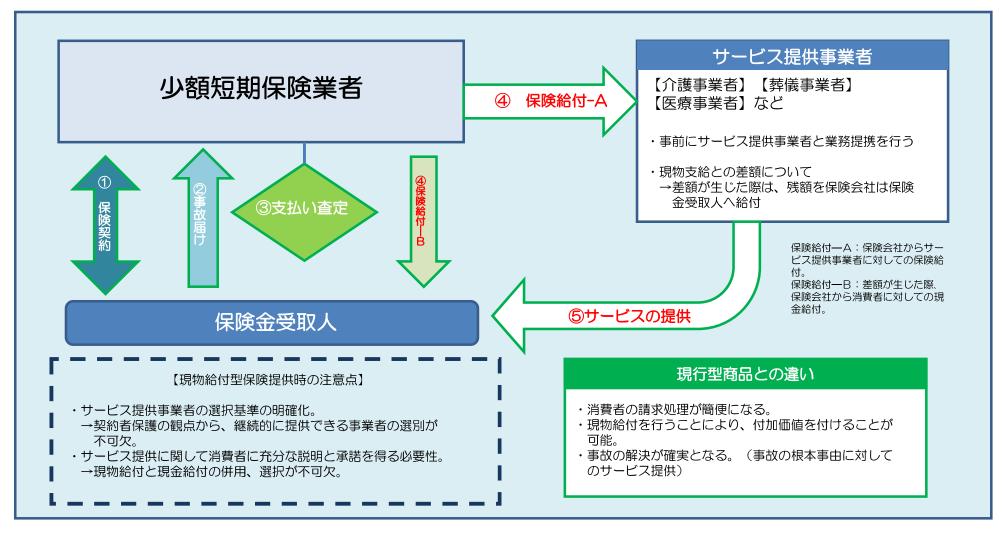
【現物給付を導入しやすい土壌】

- ・マーケット特性
  - →クローズドマーケット、親会社とのシナジー
- ・商品特性
  - →葬儀保険、介護費用保険、レスキュー保険 ペット保険、孤独死保険など

#### ■現行商品の事務フロー■



# ■現物給付型保険の事務フロー■



## ■現物給付のメリット・デメリット■

# メリット

#### 【消費者のメリット】

- ・請求の手間が軽減。
- ・必要な保障(サービス)をダイレクトに選択できる。
- ・現金給付との選択制により、契約者(受取人)の意思が尊重される。

#### 【少額短期保険業者のメリット】

- ・消費者の多様なニーズに対応できる。
- ・少額保障の利点を最大限に生かした、商品構築が可能。
- ・サービス提供会社との提携により確実な支払いが可能。

少額短期保険の多様性に即した給付の確立が可能

メリットの最大活用

# デメリット

#### 【消費者のデメリット】

- ・提供のサービスによっては、満足を得られない。
- ・地域格差が生じる可能性がある。

#### 【少額短期保険業者のデメリット】

- ・サービス提供事業者の破たんリスク等が発生する。
- ・地域格差を標準化する必要性。
- ・価格変動リスクの影響をうける可能性がある。

短期契約の特性を発揮した リスク回避が可能

デメリットの緩和

少額短期保険における現物給付型保険の実現へ

保険商品の現物給付に対して

少額短期保険は最適な保険フキーハ